今日の学習のポイント

プラクシテレス（ギリシャ　紀元前４世紀）

　クラシック　期に活躍し、大理石による多くの神像彫刻を制作した。この期の彫刻は、片足に体重をかけて立つことで肩と骨盤の傾きが異なる　コントラポスト　というポーズをとることで、その前の　　アルカイック　　期の彫刻と比べて人間的な姿として表されている。

ルネサンス

「　再生　」「復活」を意味するフランス語であり、一義的には、古典古代（　ギリシア　・

ローマ　　）の文化を復興しようとする文化運動であり、14世紀にイタリアで始まり、やがて西欧各国に広まった。

サンドロ・ボッティチェリ（イタリア　1445 - 1510）

フィレンツェ生まれの画家。初期イタリアルネサンスで最も業績を残したフィレンツェ派の代表的画家とされる。　メディチ　家の保護を受け、宗教画、神話画などの傑作を残した。

「ヴィーナスの誕生」では、現実の人体ではありえないポーズを用いながら輪郭線を中心とした装飾的な美しさを追求している。

レオナルド・ダ・ヴィンチ(イタリア,1452 - 1519）

盛期イタリアルネサンスを代表する芸術家。絵画、彫刻、建築、音楽、科学、数学、工学、発明、解剖学、地学、地誌学、植物学など様々な分野に顕著な業績を残し、「万　能　人　」 と呼ばれている。

ミケランジェロ・ブオナローティ(イタリア、1475- 1564）

盛期イタリアルネサンスの彫刻家、画家、建築家、詩人。西洋美術史上のあらゆる分野に、大きな影響を与えた芸術家である。ミケランジェロ自身が本業と考えていた　彫刻　　分野以外の作品は決して多くはないにもかかわらず、絵画や建築など様々な分野で優れた芸術作品を残した。上矢部高校にある石膏像で彼の手になるものは　ブルータス　、メディチ　　である

テンペラ

乳化作用を持つ物質を固着材として利用する絵具及びこれによる絵画技法。混ぜ合わせる　　という意味のラテン語Temperareを語源としている。　卵　　　を固着剤としたテンペラ画が代表的。油彩画のように黄変・暗変しない性質があり、明るく乾いた絵肌が特徴である。

スフマート

スフマート(sfumato)は、「消える」「ぼやける」ということを意味するイタリア語の動詞sfumareの名詞型で、「ぼかし」を意味している。絵画の技法としての「ぼかし法」は、レオナルド・ダ・ヴィンチが創始者とされており、「モナ・リザ」はその代表例である。乾燥の遅い

　油彩　　画　ならではの技法といえる。

フレスコ

壁に　漆　喰　　を塗り、生乾きの間に水または石灰水で溶いた顔料で描く。やり直しが効かないため、高度な計画と技術力を必要とする。語源はイタリア語の "fresco" （「新しい」「新鮮な」という意味）

北方ルネサンス

広義ではイタリア以外でのヨーロッパにおけるルネサンス運動全体を指すが、特にオランダやドイツで　徹底した写実、緻密・　細密　な描きこみを表現の特徴とする絵画が発展した。主題としては生活に即したテーマや、宗教・哲学的主題が多い

ヒエロニムス・ボス（1450頃- 1516）

ネーデルラント（オランダ）の画家。多数の作品を制作したが、ほとんどが16世紀の宗教改革運動での偶像破壊のあおりを受けて滅失し、30点ほどの作品が残されている。聖書に基づく寓話を絵にしたような作品が多いが、　　シュルレアリスム　　を思わせるような幻想的な作風であり、それぞれの主題も謎に満ちている。ブリューゲルなどにも影響を与えた。

ピーテル・ブリューゲル（1525頃 - 1569）

フランドル（ベルギー）の画家。人間味溢れる農民の姿や、遊びに興じる庶民を多く描いたことから　　農民画家　　と呼ばれる。先輩画家ボスの影響を強く受けているが、ブリューゲルは愚直な人間の人間らしさをそのまま描いている。北方ルネサンス特有の精緻な細部描写が特徴である。